

# イアン・ブルマ氏講演会

## 日・中・米の関係をさまざまな視点で論じる

一月八日、「Sophia Distinguished Lecturer Series」の第八回講演会が行われた。講師には、ヨーロッパ文化、社会、社会科学への貢献に対して与えられる二〇〇八年度エラスムス賞(Erasmus Prize)を受賞した、オランダの作家・ジャーナリストであるイアン・ブルマ氏を迎え、「China-USA-Japan: Triangle of Love and Hate」(題)が行われた。



東アジア共同体について  
の意見も述べるブルマ氏

ブルマ氏ははじめに、十八世紀から十九世紀に歴史を遡り、当時の日本の文明の位置付けについて、「日本は中国やアメリカのように文明の中心ではなく、外縁にいたため、外の世界に好奇心を持ち、近代化や文明開化につながった。それは外縁に位置づけられていた日本の利点である」と指摘した。

また、水戸学派の会派正志齋が抱いていた西洋列強と宗教との関係、西洋化に対する福澤諭吉の『西洋事情』のなかで「脱亜入欧論説のほか、夏目漱石が『日本は急速に西洋化してはならない』という考えをもって書いたことなど、日本と西洋化についてさまざまな視点から背景を説明した。

引き続き、現代の日米関係については、「日本はもっとアメリカから独

立しなければならぬ。そのためには日本の憲法について真剣に議論すべきである」と強調した。

また、鳩山政権が主張するアジア版の欧州連合(EU)とも言える東アジア共同体構想について、正式な同盟関係を結ぶ場合、どのような国々を同盟国として入れるべきか、そして、同盟国との共通した基盤として何を重要視すべきか、という点についてブルマ氏独自の考えを提示した。

さらに、東アジア共同体を実現させるためには「中国を除外することは挑発的で利益にならない。中国は参加させるべきだ」と述べた。EUのような正式な共同体でなくても、非公式な連携関係、同盟関係など代替案があるのでは」と提案した。

# 第2回 男女共同参画セミナー

## 女性研究者支援の社会的背景を説明

一月十九日に、第二回男女共同参画セミナーが図書館九階会議室にて行われた。このセミナーは、男性と女性の研究者が共に最大限の能力を発揮できる職場作りを目指すことを目的に開催されている。

講演後の質疑応答では、憲法第九条に対する率直な意見をブルマ氏に求めるほか、東アジア共同体に対する参加者からの意見も多数出た。活発な意見交換の場となった。



女性研究者支援の社会的背景を説明する岡本教授

岡本教授は、職業達成の男女差がなぜ起きるのかという点について、育児段階における「女の子らしさ」「男の子らしさ」という固定観念の問題があることを取り上げ、現状では目指したいロールモデル(人物像)が不足している点や家事・育児の負担の不均衡などの背景について説明した。

そして、女性研究者を増やす方策としては、育児や教育を行う上で親や教師が男女差についての価値観を変えることが重要であるほか、女性研究者を高校へ派遣して講義すること、女性研究者としての職業を周知させるなどの対策が必要であると述べた。

# 新年賀詞交歓会

一月五日、理事長・学べ、「ひとりの夢も皆で長による念頭の挨拶(一見れば現実のものとなる面)並びに新年賀詞交歓会がグランドプリンスホテル赤坂で開催され、教職員約二百五十人が参加した。

はじめに、高祖敏明理事長が、本年を教育・研究・社会貢献の刷新と充実のための基盤づくりの年にしたいと抱負を述べた。

続いて、石澤良昭学長が、今年の大きな取り組みとして、二〇一一年四月の総合人間科学部看護学科設置に向けての申請業務とグローバル30を挙げ、人と共に寄り添う看護の本質を捉えた、本学らしいプログラムを作り上げ、留学生に選ばれる自身の充実した大学作りには教職員の支援が欠かせないと協力を仰いだ。また「日々の学



高祖敏明理事長が抱負を述べた。

「日本機械学会二〇〇九年度生産加工・工作機械部門賞」(功績賞)を受賞した。清水伸二(理工学部機能創造理工学科教授)【受賞日】二〇〇九年十二月三日



# 受賞

【日本機械学会二〇〇九年度生産加工・工作機械部門賞】(功績賞)を受賞した。清水伸二(理工学部機能創造理工学科教授)【受賞日】二〇〇九年十二月三日

# 世界遺産

## アンコールワット展

—アジアの大地に咲いた神々の宇宙—

### 石澤学長がソク・アン副首相を案内

十二月二十七日から一月十八日まで、世界遺産アンコールワット展「アジアの大地に咲いた神々の宇宙」が日本橋三越本店で開催された。これは財団法人岡田文化財団の三十周年を記念し開催され、日メコン交流年二〇〇九認定事業の一つになっている。



テープカットには高祖敏明理事長(右端)も参加

東京開催初日のオープニングセレモニーには、カンボジア王国ソク・アン副首相、ハオ・モニラット在日カンボジア王国特命全権大使、西村智奈美外務大臣政務官、イオ株式会社名誉会長相談役で本学名誉博士の岡田卓也氏らが出席した。

ソク・アン副首相は、アンコール王朝の文化や思想が、現在もカンボジア人の生活に継承されていることを紹介し、「展示を通して、わが国の文化の奥深さと魅力に触れると共に、両国の文化交流が促進されることを祈念する」と挨拶し、開会後は、石澤良昭学長が来賓に展示品を説明しながら会場を案内した。



石澤学長が展示品を説明

今回のアンコールワット展には先立ち、十二月十四日にはソク・アン副首相が本学を訪問し、カンボジアでの長年にわたる遺跡修復と地道な人材育成への貢献に謝辞を述べた。

なお、同展覧会は、今年十二月までに全国十カ所を巡回予定。次回は二月四日から山梨県立博物館で公開される。

# 白柳枢機卿追悼ミサ

## 日本のカトリック教会への貢献に感謝

一月二十二日、クルトウルハイム聖堂において、昨年十二月三十日に逝去したベトロ白柳枢機卿(享年八十一歳)の追悼ミサが行われた。高祖敏明理事長他の共同司式で執り行われたミサには教職員・学生が集まり、白柳枢機卿を偲ぶと共に、日本のカトリック教会へのさまざまな貢献や支援に感謝し、冥福を祈った。

白柳枢機卿は、一九五一年本学文学部哲学科を卒業。五四年同神学研究科修了。日本カトリック司教協議会会長や東京教区大司教を三十一年にわたる務めた。また、九四年、日本人では四人目のカトリック枢機卿に親任され、二〇〇五年の教皇選挙(コンクラウエ)に参加。二〇〇八年十一月には長崎で執り行われた日本初の列福式で主司式を務めるなど、カトリック教会に多大な功績を残した。



白柳枢機卿へ祈りを捧げる

# 創立百周年記念 募金だより ②

## ネットショッピングで募金

去る十二月十七日、和泉法夫ソフィア会会長(写真中央)から石澤良昭学長に、二十一万七千九百九十一円のご寄付が手渡された。

これは、ソフィア会ホームページ上のアマゾンや楽天などのバナーから商品を購入した方々のご協力の賜物である。ソフィア会ホームページ経由でのネットショッピングに対し、サイト運営会社からソフィア会に手数料報酬(アフィリエイト)が支払われ、それが創立百周年記念事業募金へとつながった。

ソフィア会がこの仕組みを導入して約一年がたち、その間、約六万件の商品の注文個数は約四千個で、その結果今回の二十一万円を超えるご寄付となつた。



和泉法夫ソフィア会会長から石澤学長へ募金手渡しの様子

### 【アフィリエイト募金の仕組み】



募金受付状況(2009年12月31日現在)

件数	金額
ご父母(大学・短大)	3,391 155,038,995
卒業生(大学・短大・社専)	8,609 376,261,119
教職員	1,630 78,095,727
企業	250 881,376,600
団体(大学・短大・社専)	324 90,493,963
篤志家など(SJを含む)	95 261,772,944
合計	14,299 1,843,039,348

注1)入金件数/金額を集計しています。  
注2)分別払い、給与天引による寄付は、その都度、件数にカウントされています。

「この寄付で名前を刻みたい」と話している。利用者にとっては、購入物の参加によるものなのに入価格やポイント等の特典に変更はなく、手続きが簡単である。ソフィア会ホームページ http://www.sophiakai.gr.jp を利用下さい。

今後ともご協力をお願いいたします。